

“Histoire de territoires dans le Languedoc médiéval et moderne”



Colloque international franco-japonais

日仏国際シンポジウム

『中近世フランス・ラングドックの領域史』

2014年10月11日(土)

第I部:

「日本人によるラングドック地方への眼差し:

カペスタンを起点として」

(沼地研究会会員限定・仏語)

【場所】日仏会館・501会議室

【時間】14:00-17:30

【司会】

加藤 玄(日本女子大学・西洋史)

【はじめに】

伊藤 毅(東京大学・建築史)

【研究報告】

向井 伸哉(トゥールーズ大学博士課程・西洋史)

加藤 祥一(東京大学・建築史)

中島 智章(工学院大学・建築史)

坂野 正朝(工学院大学・西洋史)

小島 見和(東京大学博士課程・建築史)

【コメント・討議】

モニク・ブーラン(パリ第一大学名誉教授)

ジャン＝ルー・アベ(トゥールーズ大学)

ジルベール・ラルギエ(ベルビニャン大学名誉教授)

le samedi 11 octobre 2014

I. "Regards japonais sur le Languedoc: Capestang et d'ailleurs"

【Modérateur】

Makoto KATO (Université pour femmes du Japon)

【Introduction】

Takeshi ITO (Université de Tokyo)

【Atelier de recherche】

Shinya MURAI (Université Toulouse - Jean Jaurès)

Koichi KATO (Université de Tokyo)

Tomoaki NAKASHIMA (Université Kogakuin)

Masanori SAKANO (Université Masashi)

Mina KOJIMA (Université de Tokyo)

【Commentaire】

Monique BOURIN (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne, professeur émérite)

Jean-Loup ABBÉ (Université Toulouse - Jean Jaurès)

Gilbert LARGUIER (Université de Perpignan - Via Domitia, professeur émérite)

2014年10月12日(日)

第II部:

「領域と居住: 中近世ラングドックにおける危機対処の変遷」

(一般公開・先着順 定員 100名・日仏同時通訳)

【場所】日仏会館・ホール

【時間】10:30-17:00

【司会】伊藤毅(東京大学)

【開会挨拶】

中野隆生(学習院大学、日仏歴史学会)

【趣旨説明】

伊藤毅(東京大学)

【講演】

モニク・ブーラン(パリ第一大学名誉教授)

「中世初期・盛期の防備居住: 形態と機能の比較」

ジャン＝ルー・アベ(トゥールーズ大学)

「非常時の共同体: 中世末期の村落防衛」

ジルベール・ラルギエ(ベルビニャン大学名誉教授)

「平穏なる内陸と危険をもたらす海洋: 十六〜十七世紀」

【コメント・討議】

佐藤彰一(名古屋大学名誉教授、日本学士院会員)

中野隆生(学習院大学、日仏歴史学会)

* 資料・お茶代として1,000円を頂戴いたします。

* 懇親会 18:00-

(会費 5,000円 於 日仏会館 1F・レスパス)

le dimanche 12 octobre 2014

II. "Territoire et habitat.

Les mutations de l'insécurité en Languedoc aux époques médiévale et moderne."

【Modérateur】

Takeshi ITO (Université de Tokyo)

【Discours d'ouverture】

Takao NAKANO (Université Gakushuin, Société Franco-Japonaise des Sciences Historiques)

【Introduction】

Takeshi ITO (Université de Tokyo)

【Conférence】

Monique BOURIN (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne, professeur émérite)

"Formes et fonctions de l'habitat fortifié au Haut Moyen Âge et au Moyen Âge central. Comparaisons"

Jean-Loup ABBÉ (Université Toulouse - Jean Jaurès)

"Les communautés sous pression. Défendre son village à la fin du Moyen Âge"

Gilbert LARGUIER (Université de Perpignan - Via Domitia, professeur émérite)

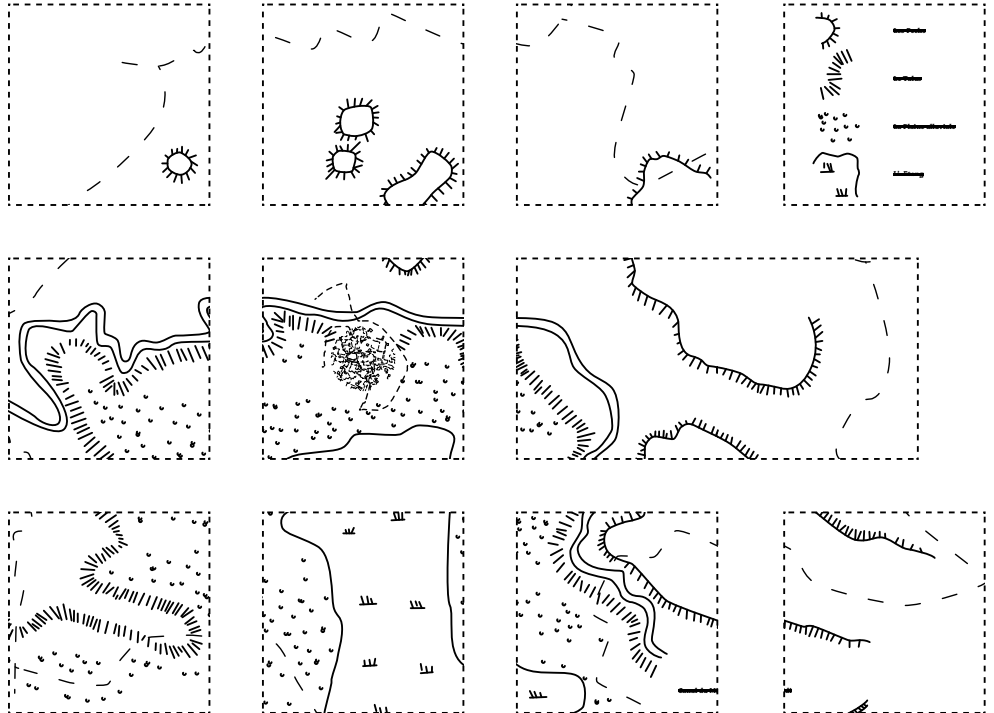
"Aux XVIIe et XVIIIe siècles. Apaisement à l'intérieur, risques depuis la mer"

【Commentaire】

Shoichi SATO (Université de Nagoya, Académie Japonaise des Sciences)

Takao NAKANO (Université Gakushuin, Société Franco-Japonaise des Sciences Historiques)

われわれ共同研究グループ(フランス沼地研究会)は、中世南西フランスに誕生した新都市バスティードの共同研究の経験のひとつの契機としながら、現在フランス・ラングドック地方における中世から近世にかけてのテリトワール論(領域論)を学際的体制で進めている。今回は当該地域の中近世農村史・都市史の第一人者である3人の研究者を日本に招聘し、特定地域の領域分析の方法と視角を学ぶことにした。ラングドックについて、中世から近世にかけての人々の居住とそこに迫るさまざまなレベルの危機、それらの危機への対処の仕方などに着目して、領域の歴史的推移を通時的に跡づけてみようというのが本シンポジウムの狙いである。現在のフランスにおける先端的な研究状況が示されるとともに、わが国での研究関心の所在と突き合わせ、日仏間の有意義な対話を実現することを期待したい。中近世フランス・ラングドックに特化したこの種の研究集会はわが国ではおそらくこれが最初であり、3人の泰斗が一堂に会することも稀少な機会である。この比較的絞り込んだテーマの芽から、より普遍的な論議が育ち、今後の日仏ラングドック研究の国際協力の端緒になることを願ってやまない。



【問い合わせ先】

日仏国際シンポジウム運営委員会事務局

〒113-8656

東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学工学部 1号館 3階 303号室 伊藤研究室気付

tel: 03-5841-6184

fax: 03-5841-6184

mail: francesympo2014@itolab.org

【日仏会館】
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 3-9-25
tel: 03-5424-1141
fax: 03-5424-1200

【会場までのアクセス】

JR 山手線恵比寿駅

: 東口より 13分

東京メトロ

日比谷線恵比寿駅

: 1番出口より 15分

